

エグゼクティブサマリー: Dell PowerFlexの ビジネス価値



Carol Sliwa
Research Director, Infrastructure Systems,
Platforms and Technologies Group, IDC



Harsh Singh
Senior Research Analyst,
Business Value Strategy Practice, IDC

新たなデジタルビジネスへの取り組みの中でも、特にITリソースの拡張を必要とする場合、企業はその実現に向けシステムのモダナイゼーションと一元管理を目指す。ソフトウェアデファインドインフラストラクチャは、そのような企業に人気の選択肢となっている。ソフトウェアデファインドストレージは、従来のSANやNASシステムにはない利点を提供し、業界標準のサーバーノードにおいてパフォーマンスと容量の拡張を容易にする。変化するビジネスニーズに対応するため、俊敏性を維持する必要のあるIT組織には、柔軟な展開オプションと自動化機能は、ストレージインフラストラクチャのプロビジョニング、運用、管理の複雑性を軽減するのに役立つ。デル・テクノロジーズのDell PowerFlex (インテルXeonプロセッサを搭載) などのソフトウェアデファインドインフラストラクチャのプラットフォームは、リレーショナルデータベース、NoSQLデータベース、スループット集約型の分析アプリケーションなど、多様な従来型のワークロードや、最新のクラウドネイティブのワークロードをサポートするように設計されている。

IDCは、企業がDell PowerFlexを使用して、重要なビジネスワークロードを実行および管理する際に達成できる価値とベネフィットについて調査した。本調査では、Dell PowerFlexプラットフォームを使用する際のベネフィットとコストについて経験と知識を持つ企業7社に詳細なインタビューも行われた。

ビジネス価値の ハイライト

- ↑ **276%** 3年間のROI
- ➡ **8か月**
投資回収期間
- ↓ **40%** 5年間のTCO削減
- ↑ **50%** ITインフラストラクチャ管理チームの効率向上
- ↑ **51%** ヘルプデスクチームの効率向上
- ↓ **19%** ITスタッフが「滞りなく業務を遂行する」のに必要な作業時間の削減
- ↑ **24%** イノベーションとビジネスサポートに使える時間の増加

[次のページへ進む >](#)

これらのインタビューから得た広範な定量的／定性的データに基づき、IDCは以下の要因によって各調査参加企業が3年間で平均724万ドルのベネフィットと276%のROI (Return on Investment : 投資利益率) を実現すると算出している。

- ITおよびストレージインフラストラクチャの管理スタッフの全体的な生産性を高め、チームを定型業務から解放し、デジタルイノベーションと事業プロジェクトをより適切にサポートする。
- ストレージとコンピューティングの各リソースのプロビジョニングに必要な俊敏性を高める一方で、全体的なTCO (Total Cost of Operations : 総運用コスト) は削減する。
- ITインフラストラクチャ管理における改善を生かし、アプリケーション開発業務を推進し、より大きなビジネス成果を成し遂げ、収益を増加させる。
- 計画外ダウンタイムの影響を最小限に抑えて、ビジネス部門の生産性を高め、ヘルプデスクチームの負担を軽減する。

ビジネス価値の ハイライト

(続く)

- ↓ **88%** エンドユーザーと顧客の計画外ダウンタイムの削減
- ↑ **1,390万ドル** 増収額
- ↑ **8%** アプリケーション開発者の生産性向上

[ホワイトペーパーの全文を読む](#)